

# 東京2020大会開催に向けて

オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界中の人々が集い、スポーツの価値を共有する世界最大の大会です。その開催に当たって、国、東京都及び東京2020組織委員会は、アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できること、観客や大会関係者が最高の経験を積めることを目標として、様々な準備を進めています。

## オペレーション

聖火リレー・選手村・医療等の多岐にわたる準備運営

- 選手村  
ベッド 1万8,000台  
洗濯機 400台 他
- 飲食  
選手・ボランティア等向け 350万食(6万食/日)  
飲料水
- 医療  
医師、看護師等 延べ2万5,000人  
医療品・消耗品 1万3,000人分

など



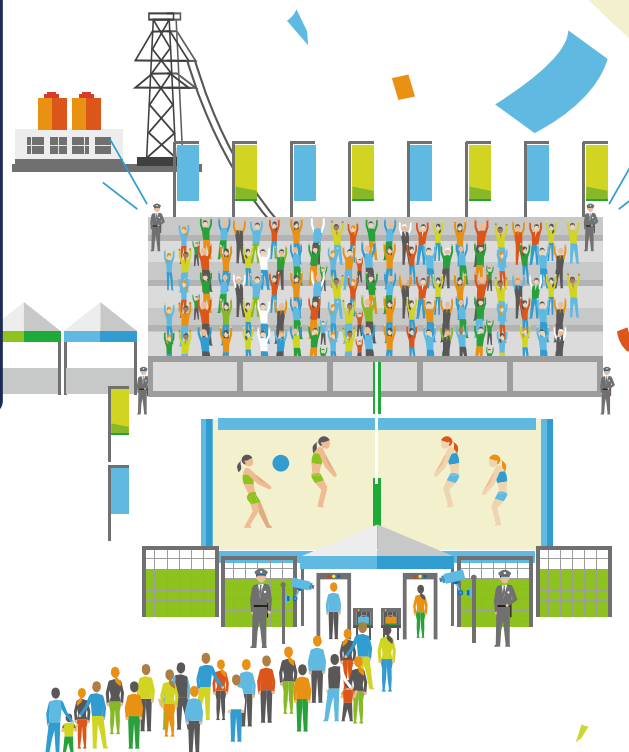
選手村  
Athletes'  
Village

## 仮設等

大会のための施設や設備を整備

- 仮設の競技会場  
有明体操競技場・ビーチバレー等 9施設
- 運営用のプレハブ・テント  
30万㎡
- 観客用の座席  
仮設 15万席(全観客席 70万席)

など



## セキュリティ

脅威に備え、大会の安全・安心を確保

- 民間ガードマンによる警備  
1万4,000人
- 来場者等に対するスクリーニング機器  
X線検査機 700台  
セキュリティゲートシステム 150レーン
- セキュリティカメラ  
セキュリティカメラ機器 1万台  
高度センサー 1,200式

など



## テクノロジー

先端技術を活用し、迅速に情報を提供するシステムを構築

- 各種情報システム  
大会管理・事務管理システム  
輸送管理システム 他
- 競技計測  
競技計測・得点情報の取得配信  
スコアボード  
55競技
- 通信インフラ  
放送事業者用映像回線  
放送用総ケーブルルート長 10,000km

など



Wi-Fi



TOKYO 2020



## 輸送

観客や大会関係者をスムーズに運ぶサービスを提供

- 輸送用バス借り上げ  
2,200台
- 輸送用自動車  
2,500台(うち、500台は水素自動車)
- オリンピックルート・ネットワーク整備  
標識や路面標示の設置

など

